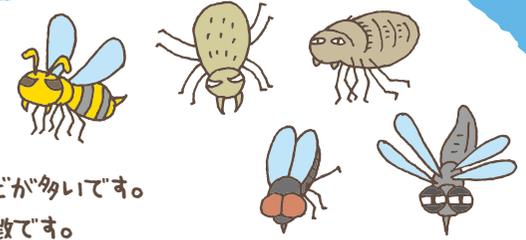


虫さされ



夏は虫の活動が活発になり、虫に触れる機会も多くなる季節です。
 虫刺されは2~6歳の子どもの多くに多く、蚊、ハチ、ダニ、ブヨ、ムカデなどが多いです。
 こどもの虫刺されは、大人より症状がひどく、長引きやすいのが特徴です。
 蚊は刺されることを繰り返すと次第に免疫ができて体が慣れるため、小さい子どもほど強い反応が出ます。
 一方で、ハチやムカデは刺されているうちに抗体ができ、次に刺された時にアナフィラキシーを起こすことがあります。

おうちでのケア

とにかくかゆみを
おさえよう!!

1 石鹸などでよく洗って流水で流す

虫の針が残っている場合あり!

2 患部を氷のうなどでしっかり冷やす。

かゆみが軽くなる!

3 かゆみ止めの軟膏を塗る

抗ヒスタミン薬やステロイド入りの軟膏

4 かゆみが強い場合には抗ヒスタミン薬の飲み薬が効くことも。

かゆみ止める...

5 蕁麻疹、息苦しい、めまい、嘔吐など全身症状を伴う場合には病院を急いで受診!

受診は 皮膚科 か 小児科 へ!

マダニのときは無理にとらず受診しよう!!

予防

虫よけ

成分表示を見て確認。

成分: デート 6ヶ月未満 X

- 年齢制限あり
- 30%濃度のものは6~8時間有効
- 6ヶ月未満の乳児は使用不可
- 6ヶ月~2歳未満は、1日1回。
- 2歳~12歳未満は、1日1~3回。

成分: イカリジン

- 年齢制限: 塗る回数制限がない
- イカリジン15%濃度のものは6~8時間有効

服装

薄手の長そでシャツ靴下などを着用して手足を露出しない

野山に入るときはシャツの裾はズボンに入れズボンの裾に靴下をかぶせる

ハチの巣に近づかない

清潔に

汗をふく

汗は虫刺されの部位を悪化させます。汗はこまめに拭き取り、シャワーを浴びましょう。

つめを切る

虫刺されは掻き壊すと悪くなり、ヒビひの原因にもなるので子どもの爪の手入れも念入りに!

ひやけ止め

虫よけの川貝でぬろう!

薬や日焼け止めを塗っている場合、その上に虫よけを塗ろう。

白っぽい服

花模様のある服や黒い服を避ける

ハチを追い払う行動(殺虫剤やスプレー)は興奮させるのでしない

むやみにヤブに入らない

蚊



十字のツメあと
をっけるの
針手に交差しない

小さい子どもの場合、
刺されてすぐより1~2日後に大きく腫れます。
特に1~3歳は大人より強く腫れ、5~7日ほど続きます。
その間にかき壊してとびひの原因になることもあります。
アトピーの子どもの場合は特に症状が強くなります。

約5~7日 予防
▶虫よけを使う
▶蚊取り線香
(喘息がある人は煙に注意)



蚊アレルギー(蚊刺過敏症)

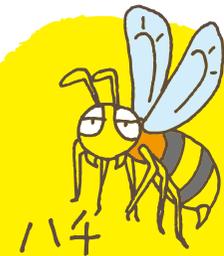
蚊に刺された時に38℃以上の熱や、
リンパ節の腫れ、刺された場所
に潰瘍ができた場合には
病院で詳しく検査を。

蚊を媒介にする感染症

ヒトスジシマカによるデング熱や
コガタアカイエカによる日本脳炎などがあります。



山林の草むらなどに生息し、
林間学校やアウトドアなどで刺されます。
太ももから足首を刺されることが多いです。
都会の大人も体が「ブヨ」に慣れていない
場合が多く、症状は強く出ます。
刺された直後は刺し口が出血します。
水ぶくれになることも。



ハチ

特に注意! 5~10月 特別に8月

刺された直後から数時間以内に
赤みや腫れ、痛みが出ます。
数日でよくなります。

数日
(太りか
のこすいがか
しれないので
石けんでき
洗おう。



予防

- ▶ハチの巣に近づかない
- ▶不必要に藪の中に入らない
- ▶ハチを追い払おうとして刺さない
- ▶白っぽい服を着て、花模様のある服や黒い服を避ける

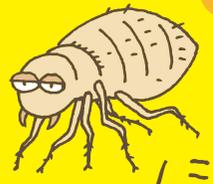


アナフィラキシーに注意!

以前ハチに刺されたことのある人が再度同種のハチに刺されるとショックを
起こすことがあり、アナフィラキシーといえます。
初めて刺された時に起こることもあり、刺されて30分以内に起こることが多いです。
刺されたあとで吐き気、めまい、じんましん、息苦しいなど症状がある場合は、
座って休むのではなく、周囲の人に相談してすぐに病院に行ってください。
1回アナフィラキシーを起こしたり、刺された部分の反応が異常に強い場合は、
次に刺された時にアナフィラキシーを起こすリスクが高いです。
これらは場合はエピネフリン自己注射用キット(エピペン)を処方してもらう必要があります。
スズメバチは集団で攻撃してくるので、一度にたくさんの場所を刺されると誰でも
アナフィラキシーショックを起こすことがあります。



ペットからか
ほとんど!



太ももから下を
刺されることが多いが、
子どもはひざ上も刺されることがも。
数mmの小さな発疹がたくさん
でき、かゆみと赤みが強く、
水ぶくれになることも。
2~3日でよくなり、1週間も
すれば発疹は消えます。

約3~7日

予防
▶ペットのノミの駆除
(駆除シャンプーなど)
▶ネコとの濃厚接触は
避ける



ひざから上
ひざから下



家の中

特に注意! 6~9月

寝ている間に布団の奥から
出てきて、特に子どもの
柔らかい皮膚を刺す。
かゆみは1週間くらい。

約7日

予防
▶天気の良い日に布団を干す
▶部屋の換気
▶こまめに掃除機



ツツガムシは
刺されても
判らない



予防

- ▶むやみに藪の中に入らない
- ▶野山に入るときは肌の露出を少なく
- ▶マダニが分かりやすいよう白っぽい服装
- ▶現場と入浴時にダニチェック
- ▶虫よけを使う(ただしツツガムシにはデオートのみ効果あり)

春~初夏~秋

ともに野山に生息するダニの一種。
鹿や猪などが出る山や民家の裏山、畑、あぜ道にも。
命にも関わる重い病気を引き起こすことがあり、
注意が必要。数週間は体調の変化に注意。
ツツガムシは非常に小さく、刺されても分かりません。
野山に出かけて1~2週間以内に
高熱、全身の発疹が出た場合には病院へ。
(刺し口があると診断が付きやすいですが分かりにくいこともあります)

数週間は注意

マダニは
取り除かず
皮膚科へ!



白っぽい
長そで
中に
入れる